

継続は力なり、生涯スポーツマン宣言



11月12日(土)から15日(火)にかけて神奈川県で開催される第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会(ねんりんピックかながわ2022)に小池徳久選手(剣道 写真左)と伊藤要一選手(ソフトテニス 写真右)が養老町から出場します。9月30日(金)には両選手の活躍を祈願し、激励会をおこないました。

大橋孝町長は「生涯現役でいることは素晴らしいことだと思います。大いに活躍し、養老町、岐阜県をアピールしてきてもらいたいです」と激励のことばを贈りました。小池選手と伊藤選手は「生涯スポーツとして長年取り組んできたので、今後も継続してまちを盛り上げていきたい」と抱負を語りました。

いい結果を残し、養老町を全国に



栃木県で開催される第77回国民体育大会へ出場する田中伸明選手(市立岐阜商業高等学校 陸上 円盤投)、西脇友彦選手(ニシワキステーブル 馬術 国体総合馬術・ダービー)、西脇小夜子選手(ニシワキステーブル 馬術 標準障害飛越・ダービー)の活躍を祈念し、9月22日(木)に激励会を行いました。

田中選手は「先輩が樹立した県記録を更新して優勝したい」と話し、西脇選手(夫妻)は「県代表として全国大会で活躍することが、養老町のためにもなると思うのでいい結果を残していきたい」と語りました。

大橋孝町長は「日頃の練習の成果を発揮して、悔いのないよう精一杯挑んでください。出場選手皆さまの活躍を大いに期待しています」とエールを送りました。

誤操作による事故を回避



9月28日(水)にスーパーセンターオークワ養老店にて養老警察署、養老地区交通安全協会、岐阜トヨタ自動車株式会社養老店の協力のもと安全運転サポート車両乗車体験イベントを開催しました。このイベントは、運転に自信がない人や高齢ドライバーを家族に持つ人に対し、車両の見直しを呼びかけるために実施しました。また、痛ましい交通事故をなくすため、買い物に来たお客さんの交通安全意識を向上するために早めのライト点灯などを呼びかけました。

地元やファンと力を合わせてJ1へ! みんなのFC岐阜!



9月20日(火)に、岐阜県下42市町村がスポンサーとなっているFC岐阜(株式会社岐阜フットボールクラブ運営)の宮田博之取締役会長が来庁し、今年もJ1昇格への抱負を語りました。宮田会長は「J1リーグでの優勝を目標に掲げ、各市町村をはじめとするスポンサーやファンと力を合わせて、地元一丸となって取り組んでいきます。また、地域貢献にも力を入れており、子どもたちへのサッカー教室も好評です」と話しました。当町もホームタウンダーを盛り上げるなど、全力でバックアップしていくことを約束しました。